

要な人材確保、子育て環境の整備、消防、救急体制の維持など地域住民の福祉向上に充てられた。人件費に充当することにより生じる一般財源のうち、6千5百万円を将来の地域振興に活用することを目的にふるさと創生基金に積立してきた。今後も電源立地地域対策交付金により生み出される一般財源を活用し、公共施設等の適正な管理と財源の健全化を進めたい。

質問 深地層研究センター所長による研究期間に対する発言で「19年度末までに研究終了までの工程やその後の坑道埋め戻しなどを含む全体計画を策定する予定がある」という発言についての町長の感想や意見はあるのか。

町長 第3期中長期計画期間の中の平成31年度末までにその工程について決定されることになっているので、それを踏まえての発言ではないだろうか。

質問 調査研究計画書に、研究を終えたと載ると、研究期間を延長すると載ると、

のでは違いがあると思うが。
町長 研究計画書は、期間中に実施される研究内容に関するものであり、中長期計画とは場面が違うと思っている。計画が出される前にお知らせをいただければ、事前に皆さんと相談できるだろう。

町長2期目について

質問 町長2期目をめざし、前向きに検討してください。

町長 私自身もこの秋までの期間、一生懸命仕事をさせていただき、次期に向けて皆さんに推していただけるような形で進めていきたい。



**第3回
まちづくり常任委員会
6月6日**

○調査事項

▽第5期幌延町障がい福祉計画及び第1期幌延町障がい児福祉計画について

質 昨今、障がい者年金の給付や障がい者の級の見直しという問題が出ている。町村では、どのようなになっているのか。

答 まだ詳しくは分からない状況である。

質 本町において、障がい者年金を受けている人はいるのか。

答 障がい者手帳の級と障害の程度の基準が違うので、全て把握はしていないが、障がい者年金を受給できる方は100%受給されているものと思っている。

質 地域包括ケアシステムの構築について、共同設置に向けて協議を進めるといふことだが、本町の現状を踏まえると、単独で構築できると考えるが。

答 北海道として、圏域ごとで協議の場を設置したいという意向があったこと等もあり、本計画の中では、宗谷全体として、共同設置で協議していくという計画にする。

質 障がい児のデイサービスについて、数年前からセンターの人員も含め、その体制について課題となっていると思うが、解決に向けた話し合いは行われているのか。

答 明日、今後の体制のあり方、運営のあり方について、事務担当者レベルで協議する場所を設けているところである。

▽名林公園樹木診断について

以前より、議員並びに町内会の方々からいろいろな意見があった名林公園にある木々の対応等について検討した結果、「道立総合研究機構林業試験場」が開発した木々の腐敗状況を簡単に調べられる装置を用いて行うこととした。

診断費用は、装置の製品化に向け、多くのデータが

必要なことから、一切かからない。

名林公園の土地・立木竹については、国から無償貸付を受けており、危険木の伐採の可否について問い合わせたところ、所定の報告は必要であるが、問題ないとの回答を得ている。

質 伐採した木の処理はどうするのか。

答 ふるさとの森の樹木を伐採した際にも、希望する町民の方に無償提供していることから、町民の皆さんに還元したいと思う。

質 名林公園が寂しくなってきた。花の咲く木を植える等、何か考えているのか。

答 町民が楽しめる環境づくりを考えると、そういう樹種を植えてくのも方法かもしれない。今後検討していきたい。

質 名林公園は原始の森ということ、北海道でも有数の巨木がある公園だと思ふ。これは貴重な資料ではないか。樹木を維持することを踏まえた管理の仕方も必要であり、巨木を残す方